



2019年9月30日

各 位

会社名	大豊工業株式会社
代表者名	代表取締役社長 杉原 功一
コード番号	6470 (東証・名証第一部)
問合せ先	執行役員 延川 洋二
電話番号	(0565)28-2800

（訂正）「平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成31年1月31日に開示いたしました「平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日（2019年9月30日）付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正並びに過年度の特別損失の計上に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



## 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 大豊工業株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 6470 URL http://www.taihonet.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉原 功一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 延川 洋二 TEL 0565-28-2225  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	85,556	0.0	<u>3,897</u>	<u>△23.5</u>	<u>3,823</u>	<u>△26.1</u>	<u>2,078</u>	<u>△42.2</u>
30年3月期第3四半期	85,526	5.4	<u>5,091</u>	<u>3.3</u>	<u>5,173</u>	<u>10.7</u>	<u>3,599</u>	<u>11.8</u>

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,177百万円(△72.8%) 30年3月期第3四半期 4,332百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	<u>71.71</u>	<u>71.63</u>
30年3月期第3四半期	<u>124.42</u>	<u>124.02</u>

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	<u>108,620</u>	<u>64,257</u>	<u>58.2</u>	<u>2,178.56</u>
30年3月期	<u>114,133</u>	<u>64,138</u>	<u>55.4</u>	<u>2,183.61</u>

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 63,204百万円 30年3月期 63,242百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	22.00	—	23.00	45.00
31年3月期	—	17.00	—		
31年3月期(予想)				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	△1.5	5,000	△26.5	4,900	△27.8	3,300	△22.4	113.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	29,172,457株	30年3月期	29,121,457株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	160,203株	30年3月期	159,119株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	28,992,494株	30年3月期3Q	28,925,575株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P8
(セグメント情報等) .....	P8
(追加情報) .....	P9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高はシステム製品の販売拡大等により85,556百万円となり、前年同四半期に比べ30百万円の増収(0.0%増)となりました。営業利益は3,897百万円となり、前年同四半期に比べ1,194百万円の減益(23.5%減)となりました。経常利益は3,823百万円となり、前年同四半期に比べ1,350百万円の減益(26.1%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2,078百万円となり、前年同四半期に比べ1,520百万円の減益(42.2%減)となりました。

所在地別売上高は、次のとおりであります。なお、所在地別売上高は連結消去前売上高であります。

## ①日本

自動車製造用設備の売上減少等により、78,677百万円となり、前年同四半期に比べ634百万円の減収(0.8%減)となりました。

## ②北米

システム製品の売上増加等により、6,211百万円となり、前年同四半期に比べ239百万円の増収(4.0%増)となりました。

## ③欧州

軸受製品の売上増加等により、3,189百万円となり、前年同四半期に比べ81百万円の増収(2.6%増)となりました。

## ④中国

軸受製品の売上増加等により、7,518百万円となり、前年同四半期に比べ716百万円の増収(10.5%増)となりました。

## ⑤アジア

システム製品、ガasket製品の売上増加等により、8,362百万円となり、前年同四半期に比べ785百万円の増収(10.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①自動車部品関連事業

自動車部品関連事業は、売上高が72,537百万円となり、前年同四半期に比べ1,713百万円の増収(2.4%増)となりました。

## ②自動車製造用設備関連事業

自動車製造用設備関連事業は、売上高が12,866百万円となり、前年同四半期に比べ1,674百万円の減収(11.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少や有形固定資産の増加により前連結会計年度末に比べ5,513百万円減少し108,620百万円となりました。負債は、主に長期借入金金の減少により前連結会計年度末に比べ5,632百万円減少し44,362百万円となりました。純資産は主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ119百万円増加し、64,257百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、連結売上高 1,130億円、連結営業利益 50億円、連結経常利益 49億円、連結親会社株主に帰属する当期純利益 33億円を見込んでいます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,498	11,668
受取手形及び売掛金	20,499	18,349
電子記録債権	4,556	4,791
商品及び製品	<u>3,238</u>	<u>3,354</u>
仕掛品	<u>2,890</u>	<u>3,116</u>
原材料及び貯蔵品	<u>5,714</u>	<u>5,426</u>
その他	2,631	3,006
貸倒引当金	<u>△16</u>	<u>△16</u>
流動資産合計	<u>55,013</u>	<u>49,696</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,680	32,885
減価償却累計額	<u>△19,851</u>	<u>△20,525</u>
建物及び構築物 (純額)	<u>12,829</u>	<u>12,359</u>
機械装置及び運搬具	90,297	93,336
減価償却累計額	<u>△72,060</u>	<u>△73,022</u>
機械装置及び運搬具 (純額)	<u>18,237</u>	<u>20,313</u>
工具、器具及び備品	18,930	19,241
減価償却累計額	<u>△17,637</u>	<u>△17,950</u>
工具、器具及び備品 (純額)	<u>1,292</u>	<u>1,290</u>
土地	13,425	13,418
リース資産	276	273
減価償却累計額	<u>△196</u>	<u>△197</u>
リース資産 (純額)	<u>80</u>	<u>76</u>
建設仮勘定	5,360	4,195
有形固定資産合計	<u>51,225</u>	<u>51,653</u>
無形固定資産		
リース資産	0	2
その他	1,566	1,843
無形固定資産合計	<u>1,566</u>	<u>1,846</u>
投資その他の資産		
投資有価証券	3,124	2,787
繰延税金資産	<u>2,234</u>	<u>1,693</u>
退職給付に係る資産	431	457
その他	578	526
貸倒引当金	<u>△41</u>	<u>△41</u>
投資その他の資産合計	<u>6,328</u>	<u>5,424</u>
固定資産合計	<u>59,120</u>	<u>58,923</u>
資産合計	<u>114,133</u>	<u>108,620</u>

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,405	6,480
電子記録債務	6,121	6,461
1年内返済予定の長期借入金	2,565	5,312
リース債務	34	32
未払費用	6,014	4,921
未払法人税等	798	153
役員賞与引当金	214	194
その他	2,853	2,658
流動負債合計	<u>27,008</u>	<u>26,216</u>
固定負債		
長期借入金	20,418	15,813
リース債務	49	47
繰延税金負債	540	421
退職給付に係る負債	1,369	1,384
役員退職慰労引当金	251	209
資産除去債務	59	59
その他	298	210
固定負債合計	<u>22,986</u>	<u>18,146</u>
負債合計	<u>49,995</u>	<u>44,362</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,679	6,712
資本剰余金	10,147	10,181
利益剰余金	<u>44,653</u>	<u>45,574</u>
自己株式	△198	△200
株主資本合計	<u>61,281</u>	<u>62,268</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,309	1,072
為替換算調整勘定	<u>1,063</u>	<u>237</u>
退職給付に係る調整累計額	△411	△373
その他の包括利益累計額合計	<u>1,961</u>	<u>936</u>
新株予約権	123	157
非支配株主持分	771	894
純資産合計	<u>64,138</u>	<u>64,257</u>
負債純資産合計	<u>114,133</u>	<u>108,620</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	85,526	85,556
売上原価	<u>69,315</u>	<u>70,384</u>
売上総利益	<u>16,211</u>	<u>15,171</u>
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	795	856
役員報酬	279	315
従業員給料	2,351	2,432
賞与	801	833
退職給付費用	89	108
法定福利費	522	559
福利厚生費	414	358
役員退職慰勞引当金繰入額	48	90
役員賞与引当金繰入額	162	162
賃借料	151	161
旅費及び交通費	216	214
減価償却費	328	398
研究開発費	3,006	2,786
その他	1,951	1,995
販売費及び一般管理費合計	<u>11,119</u>	<u>11,274</u>
営業利益	<u>5,091</u>	<u>3,897</u>
営業外収益		
受取利息	30	23
受取配当金	73	79
為替差益	70	—
その他	106	115
営業外収益合計	<u>281</u>	<u>217</u>
営業外費用		
支払利息	101	102
固定資産除却損	18	88
為替差損	—	23
持分法による投資損失	1	0
その他	77	76
営業外費用合計	<u>199</u>	<u>291</u>
経常利益	<u>5,173</u>	<u>3,823</u>



(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
特別利益		
新株予約権戻入益	31	5
固定資産売却益	12	11
投資有価証券売却益	17	—
特別利益合計	61	17
特別損失		
固定資産除却損	2	1
固定資産売却損	13	1
投資有価証券評価損	—	0
投資有価証券売却損	—	0
その他の投資評価損	6	1
減損損失	—	451
品質補償損失	59	—
その他	—	1
特別損失合計	81	458
税金等調整前四半期純利益	5,153	3,381
法人税、住民税及び事業税	1,000	692
法人税等調整額	437	484
法人税等合計	1,437	1,176
四半期純利益	3,716	2,205
非支配株主に帰属する四半期純利益	117	126
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,599	2,078

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	3,716	2,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	364	△236
為替換算調整勘定	236	△832
退職給付に係る調整額	11	48
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△5
その他の包括利益合計	615	△1,027
四半期包括利益	4,332	1,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,187	1,054
非支配株主に係る四半期包括利益	145	123

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車部品 関連事業	自動車製造 用設備関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	70,824	14,541	85,365	161	85,526	—	85,526
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	542	542	1,002	1,545	△1,545	—
計	70,824	15,083	85,908	1,164	87,072	△1,545	85,526
セグメント利益	<u>7,383</u>	2,249	<u>9,633</u>	97	<u>9,731</u>	△4,639	<u>5,091</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品の小売・自動車部品の物流・梱包等のサービス等を含んでおります。

2 セグメント利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との調整額△4,639百万円は、主に全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)となっております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車部品 関連事業	自動車製造 用設備関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	72,537	12,866	85,404	152	85,556	-	85,556
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	481	481	1,001	1,483	△1,483	-
計	72,537	13,348	85,885	1,154	87,040	△1,483	85,556
セグメント利益	<u>7,675</u>	1,178	<u>8,854</u>	80	<u>8,934</u>	△5,037	<u>3,897</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品の小売・自動車部品の物流・梱包等のサービス等を含んでおります。

2 セグメント利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との調整額△5,037百万円は、主に全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)となっております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「自動車部品関連事業」に係る減損損失は451百万円であり、その内訳は、機械装置441百万円、その他の有形固定資産9百万円であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。